

教皇庁移住・移動者司牧評議会 指針

移住者へのキリストの愛

Pontifical Council for the Pastoral Care of Migrants and Itinerant People

Instruction

Erga migrantes caritas Christi

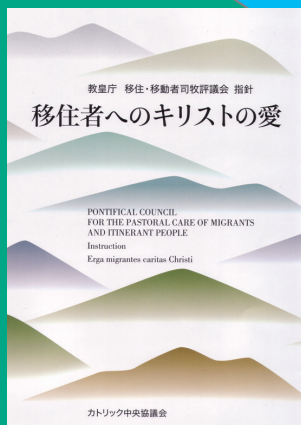
濱尾文郎枢機卿 (教皇庁移住・移動者司牧評議会 議長)

教会は前世紀から、ヨーロッパから諸大陸に移住する信徒の司牧を行っていました。(中略) 第二バチカン公会議では、この課題が司牧の司牧指針でとくに取り上げられ、移民、難民に加えて、船員、民間航空(国際空港)関係、ロマ(流浪の民)、サーカス巡業団員、留学生、旅行者、巡礼者、路上生活者、特定の小教区に所属できない移動者等に配慮することが奨励されました。一九六九年、パウロ六世教皇によって「移住者の司牧指針」が發布されました。ラテン教会の教会法典、そして東方典礼の教会法典にも、指針が示されています。一九六九年から三十五年も経った現在、世界の移住の状況も大いに変化してきました。そのため、今回の指針『移住者へのキリストの愛』が新たに刊行されたのです。



福音の文化的土着化、それぞれの民族とともにささげる典礼様式の改革など、教会の司牧指針はさまざまな対応を行ってきました。それでもなお、課題はますます増えるばかりです。何と云ってももっとも大切なことは、他者を受け入れる姿勢とその態勢です。「お前たちは、わたしが旅をしていたときに宿を貸してくれた」(マタイ 25・35) というイエスの教えは、すべてのキリスト者の指針です。現代社会に蔓延しているのは、物質主義、個人主義、金銭至上主義とともに極端なナショナリズムや排外主義、民族差別などです。今こそ教会は、聖霊の導きを祈りながら、これらの障害に挑戦していくべき時を迎えました。

(本書「日本語版刊行に寄せて」より抜粋)



濱尾文郎枢機卿が議長を務める教皇庁移住・移動者司牧評議会から発表された最新の指針。

本書は、移住者への司牧における新たな要求に対するこたえを意図しています。山積されている諸問題の的確な分析を踏まえ、エキュメニカルな視座を意識し、伝統に忠実でありながらも新しい変化に対応できる司牧活動の促進を訴えています。

B6判並製・152ページ 定価 1260円 (本体 1200円+税)

カトリック中央協議会

135-8585 東京都江東区潮見2丁目10-10 日本カトリック会館
TEL03-5632-4411 FAX03-5632-4456 www.cbcj.catholic.jp